

# 第29回千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）

## 水郷・香取郡市予選大会要綱

### 1 趣旨

本大会を通じて、少年少女の、スポーツを愛し、楽しみ、相互が協調・調和できる心と、総合的な運動による身体の健全な育成を図り、各チームの伸展に寄与すると共に、軟式野球の普及に努める。

### 2 主催 香取市スポーツ少年団

### 3 後援 香取市スポーツ協会

### 4 主管 特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会

### 5 期日 令和5年8月11日（金）雨天順延

12日（土）

予備日 13日（日）

### 6 集合時間 午前7時30分 受付

### 7 集合場所 香取市与田浦運動広場

### 8 試合開始 午前9時00分

### 9 試合実施球場 香取市与田浦運動広場A、C

### 10 表彰 優勝 賞状

準優勝 賞状

第3位 賞状

### 11 参加負担金 1チーム 6,000円 (当日、受付で納付。)

### 12 審判員

(1) 各チーム2名を帯同すること。（1名は球審経験者であること。）

(2) 審判服を着用すること。

(3) 担当する試合は、組合せ表に記載の審判担当表による。

(4) シート番号の若いチームが球審及び2塁、他チームは1塁及び3塁を担当する。

### 13 記録員

(1) 各チーム1名を帯同すること。

(2) 自チームの試合時、対戦相手チームと共同で得点及び試合経過を記録する。

### 14 諸注意

(1) 試合中の選手への指示は、ベンチ入りした監督及びコーチに限る。

(2) 大会中の怪我等事故については、各チームで責任を負うものとする。

(3) 試合の進行については、球場責任者及び球場責任審判員の指示に従うこと。

(4) 試合会場は公共施設を借用しているため、会場内は全て禁煙とする。ベンチ内も同様とし指導者等が喫煙目的でベンチ外に出た場合は、退場扱いとし再びベンチに戻ることは出来ない。

(5) 止むを得ず不参加となる場合は、早急に事務局へ連絡すること。

### 15 大会事務局

特定非営利活動法人 水郷軟式少年野球協会  
事務局長 鎌倉 徹也

〒287-0066 香取市堀之内2112番地

tel: 090-1500-5534

mail : tkamakura555@gmail.com

### 16 大会競技規則

最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟が発行する最新「競技者必携」及び「大会特別規則」を適用する。

### 17 大会特別規則

#### 《出場資格及びチーム構成》

(1) 大会出場資格は、特定非営利活動法人千葉県少年野球連盟（以下「法人」という。）の構成会員（以下「チーム」という。）であり、最終日まで参加できるチームであること。

(2) 大会出場登録でのチーム構成は、成人者による代表者、監督、コーチ（2名）、スコアラー、介護員と選手は（小学4年生以下）9名以上20名以内とする。ベンチ入り指導者（監督、コーチ）は、認定指導者有資格者1名以上とする。（但し、新規加盟チームに於いては、1年間の猶予を与えることとする。）

低学年大会に限り、選手以外の監督・コーチがベースコーチとしてコーチスボックスに入ることを認める。

(3) 出場チームは、この法人の定款、大会規則、大会特別規則を遵守すること。参加する1チームの部員数が8名以下（1・2年生を除く。）のチーム同士の場合は、連合を認める。

※連合は、選手数の少ないチーム同士、数チームでも可能とする。連合チームの中の1チームの部員数が9名を超えて、連合していた他のチームの選手数が満たない場合は、そのチームの選手登録は救済措置として認める。但し、地域理事の承認を得ることとする。

(4) 前項に違反した場合は、没収試合とし相手チームに勝利を与え、後日協議し処分を言い渡す。

#### 《服装・用具》

(1) 同一チームの監督・コーチ・選手は、統一されたユニホームまたは所属チームのユニホーム・帽子・ストッキング（アンダーソックス着用）・アンダーシャツを着用すること。代表者・スコアラー・介護員の服装は、平服とし、帽子（所属チームの物）を着帽し、靴は、運動靴またはアップシューズとする。

(2) 背番号は、監督30番、コーチ28番・29番、主将10番、選手は、0番～27番とする。

監督・コーチ・選手全員とも同色系とする。但し、連合チームの場合は、所属チームのものとする。  
(金属歯のスパイクは禁止する。)

(3) ヘルメットは、「JSBB」公認マーク入りで両側にイヤーラップの付いたものを最低8個用意し、打者・次打者・走者・ベースコーチ・ボールボーイは必ず着帽すること。

(4) 捕手（控え捕手も含む。）は、マスク（SGマーク付き及びスロートガード付及び一体化も可能。）・レガース・プロテクター・ヘルメット及びファールカップを着用する。

(5) 投手の守備を除き、選手（打者・守備）の手袋及びリストバンドの使用は認める。

(6) 使用球は、全日本軟式野球連盟公認球「J号球」とし、金属バットは「JSBB」公認マーク入りのものに限る。但し、破損（変形）・加工バットの使用は禁止する。

(7) サングラスは大会本部の承認なしに、投手を含め使用可とする。但しミラーサングラスは不可。

また、ベンチ入り指導者のサングラス使用は大会本部承認（トス時に確認：『診断書等、医療機関からの勧め』がある場合は使用可）を条件として使用可とする。

#### 《抽選会・開会式》

(1) 大会の出場チームは選手名簿を提出し、開催前に行われる監督会議・抽選会に指導者が出席すること。試合組合せの抽選の順は、抽選会受付の順とする。

(2) 大会の開会式は、実施しない。

#### 《試合の集合時間・準備》

(1) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻1時間前までに集合し、指導責任者により受付を終了すること。第2試合以降も同様とする。

(2) 試合中止の場合は、大会本部から連絡する。雨天による判断が困難な場合は、時間までに試合会場に集合し、大会本部の決定に従うこと。

試合実施の可否は、午前6時00分に決定する。

(3) メンバー表の提出は、第1試合は試合開始時刻30分前、第2試合以降は40分前までに監督・主将が5部持参し、グランドルールや注意事項等を確認すること。

ただし特別な理由がない限り、上記の試合開始時刻30分前または40分前までにメンバー表の提出がなかった場合は、監督のベンチ入りは認めないとする。

(4) ベンチは抽選番号の若番が1塁側、後番が3塁側とする。攻守の先攻・後攻はメンバー表提出時にトスにより決定する。（トス時に、両チームともベンチ入り3名の指導者認定書を携帯すること。）

(5) 試合前のシートノックは、後攻のチームから開始し、時間は5分間とする。ただし前の試合の遅れまたは天候不安等が生じた場合は、短縮または中止して試合を開始する。

(6) シートノック時及び試合開始後、ユニホーム着用指導者の投球練習の捕手（ブルペンを含む）とシートノックの選手からの返球の捕球を行うことは認められる。

(7) シートノックを行うノッカーにボール渡しをする選手は、ヘルメットを着帽の上、前方からのトス渡しとする。試合中の主審へのボール渡しをするボールボーイも必ずヘルメットを着帽すること。

(8) ベンチ入りの代表・監督・コーチ等の指導者が試合中にベンチを離れた場合は、退場したものと見なし再びベンチに戻ることは出来ない。ただし緊急を要する場合に限り認めることとする。

#### 《試合時間等》

(1) 大会の試合形式はトーナメント戦とし、1試合（1時間15分）5回均等回で勝敗を争うこととするが、タイムゲームを最優先する。1時間15分を超えた時は、新しいイニングに入らずその時点の得点をもって勝敗を決する（同点の場合は、特別延長戦ルールを適用する。）。決勝戦も同様とする。

(2) 得点差によるコールドゲームは、3回均等回終了後10点差以上のときに適用する。決勝戦も同様とする。

(3) 日没・降雨によるコールドゲームの適用は、3回均等回終了後適用する（同点の場合は抽選とする）。3回均等回終了前については、再試合とし、後の

第1試合前に行う（決勝戦も同様とし、後日再試合。）。

日没・降雨の判断は、当該球場責任者・責任審判員が両チームの監督を招集し、協議して決定する。

(4) 上記(2)・(3)項における「3回均等回終了」については、3回表が終了した時点で後攻チームがリードの場合、3回均等回終了と見なし、コールドゲームを適用する。

(5) 1試合のタイム数の制限：5回で攻撃側2回、守備側2回、特別延長戦は1回につき各1回とする。守備時3人以上集まればタイム1回と見なす。

#### 《試合》

(1) 同一投手の投球回数は1試合3イニング（特別延長も含めて9アウト。）とする。1日2試合ある場合は、2試合目も同様とする。（1日の合計6イニング18アウト。）

(2) 投手の変化球は禁止し、変化球に対してはボールを宣言する。再度繰り返した場合は、その投手は交代させる。（その試合での再登板も認めない。）

(3) 打者走者及び走者は、走塁のときベースコーチまたは選手に触れてはならない。その場合、走塁補助と見なしアウトを宣言する。

(4) 死球等により手当を必要とする場合には、臨時代走（コーティシーランナー）を認める。代走は打順前位の者（投手・捕手を除いても良い。）とする。

(5) 審判員に対するアピールは、監督と当該選手に限り認める。また、選手交代を行うときは、監督が球審に申告する。試合中のメガホンの使用は、監督に限り認める。

(6) 監督が投手と協議するときは、マウンドまで駆け足を励行すること。また選手への指示についても同様とする。但し、同一イニングに同様の行為を2回行った場合は、投手を交代させる。

(7) アウトを取る意思のない投手の塁への牽制・送球は遅延行為と見なし審判員はボーカルを宣言する。

(8) 仮設球場等の場合は、球場責任者が球審と両チームの責任者に対して、ローカルルールの適用を説明し試合を行う。

(9) その回の先頭打者は、準備投球が終わるまで次打者席で待機すること。

(10) 次打者席では投手が投手板に触れて投球位置についたら、素振りをしてはならない。

(11) 投手が投球板に触れて投球位置についたら、投手に動搖を誘うような大きな声を発しないこと。

(12) ベンチ内の大人がいかなる状態であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。

(13) 悪質な暴言・野次・講義等を行うチームには、当事者または代表・監督の退場を大会責任者・球場責任者・当該審判が命じることが出来る。少年野球にふさわしい応援で臨むこと。

#### 《特別延長戦》

(1) 5回終了後または1時間15分を超える後攻の攻撃終了時で同点の場合は、特別規則を適用し、直ちに「特別延長戦」を実施すること。

(2) 打者は前回の継続打者、走者は前回の最終打者が1塁走者として、2塁・3塁の走者は、順次前打者として1死満塁で1イニングを行い、点数の多いチームを勝者とする。1回で勝者が決定しない場合は、さらに継続打順で1イニングを行い、なおも勝者が

- 決定しない場合は抽選とする。決勝戦も同様とする。
- (3) 特別延長戦中での降雨・日没については、全て抽選とする。(決勝戦も同様。)
- (4) 抽選方法は、球場責任者・責任審判員の指示に従う。
- (5) 特別延長戦での選手の交代は認める。ただし既に交代した選手の交代は認めない。

#### 《附記》

- (1) 試合会場(フィールド外を含む。)に於いて、試合前の練習等での選手のバットの使用は禁止する。ただしベンチ入り後の指導者によるバットを使った守備ノックと選手のベンチ前での素振り(指導者立会いのもの。)は認める。
- (2) 試合前のメンバー交換後、次試合の両チームの先発バッテリーのブルペンでの投球練習を認める。
- (3) 各会場に於いては、ベンチ内への組立椅子・机等の持込、使用は禁止する。なお試合終了後はグランド整備の手伝いとベンチ内の清掃を行うこととする。

#### 《審判規定》

- (1) この規定以外の必要事項は、審判員が大会責任者(ここでは球場責任者。)と協議して決定する。

### 1.8 大会グランド規則

- (1) 大会球場がファールラインからスタンド、バックネット(柵まで)が少年野球区画基準の12mに満たない球場で、送球がスタンドまたはベンチに入った場合、球場のフェンスを越えるか・くぐるか・抜けた場合、バックストップの上部継ぎ目から上方の斜めに張ってある金網に乗った場合、観衆を保護している金網に挟まって止まった場合、特別に設けたボールデットゾーンに入った場合の5項目については、ボールデットとし、その送球が打球処理直後の内野手の最初のプレイに基づく悪送球であった場合は、投手の投球当時の各走者(打者走者も含む)の位置、他の場合は、悪送球が野手の手を離れた時の各走者(打者走者も含む)の位置を基準として1個の塁しか与えないものとする。

#### 《附記》

大会グランド規則の1は、正規の送球では各走者(打者走者も含む)には2個の塁が与えられる規則となっている。但し、狭い球場等ではこのような悪送球がなされた場合には、守備側に対して一方的に不利になることから規定するものである。この場合、野手が球に触れたかどうかには関係なく適用する。  
[公認野球規則7.05(g)、アマチュア野球内規10適用]

#### (2) 試合終了後に両チームでグランド整備を行うこと。

#### チームマナーについて

- 1 チームが球場に到着したときは、直ちに本部に申し出て当日の注意事項を聞いてください。なお、試合終了後も連絡事項がありますので本部に立ち寄ってください。
- 2 チーム責任者(監督・主将)は、第1試合を除き前試合4回(5回制は3回)終了後、直ちにメンバー表5部を本部へ提出してください。
- 3 試合場の本部及び責任審判員の注意事項は、チーム全員に徹底してください。

- (1) シートノックは、5分間とします。
- (2) チームのミーティングには、コーチャー、打者、次打者(低姿勢で待つ。)は参加せず定位置についてください。
- (3) ダッグアウト前、次打席には、用具、物品(ロージンは別)を置かないようにしてください。
- (4) 試合に直接関係ない選手は、みだりにダッグアウトを出ないようにしてください。
- (5) 選手は、駆け足で守備位置についてください。  
(投手は、インフィールドは歩いてよい。)
- (6) イニング終了時のボールは、必ず投手板に静かに置いてください。
- (7) ロージンは使用後投げないで、静かに投手板の後方に置いてください。
- (8) 抗議は、監督、当該プレイヤーに限ります。
- (9) 無用と思われるタイムや長いインターバルはとらないでください。
- (10) 死球を与えた選手は、打者に会釈をし、紛争を起こさないよう留意してください。
- (11) 打者がサインを見るときは、打者席内で行うようにしてください。
- (12) 試合終了後、対戦両チームにより、球場整備を行ってください。
- (13) 試合前後のスタンドでの応援、見学時に飲食する場合は、後片付け(特に吸殻)を必ず行ってください。

4 その他、当日管理運営のことについてご協力をお願いします。